

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
富山県知事 新 田 八 朗 殿		令和5 年 6 月 21 日	
提出者 住 所 東京都千代田区神田和泉町1 氏 名 YKK株式会社 代表取締役社長 大谷 裕明 (法人にあつては、名称及び代表者氏名) 電話番号 03-3864-2000			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、 令和4 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事 業 場 の 名 称	YKK株式会社 黒部事業所 黒部工場		
事 業 場 の 所 在 地	富山県黒部市吉田200		
事 業 の 種 類	その他の製造業		
特別管理産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	2022年4月1日から2023年3月31日まで		
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	151 t	全 処 理 委 託 量	151 t
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	151 t
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	99 t
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	52 t
自ら埋立処分 を行 う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
電子情報処理組織の使用に関する事項			
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		前々年度	143 t
		前 年 度	151 t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)			
電子マニフェストシステム(JWNET)を使用して、適正なマニフェスト管理を継続的に実施している			
※事務処理欄			

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 汚泥)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 11

自ら直接再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分した量

③ 0

自ら中間処理した量

④ 0

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 11

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 11

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 5

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 6

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 廃 油)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 5

自ら直接再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分した量

③ 0

自ら中間処理した量

④ 0

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 5

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 5

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 1

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 4

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 廃 酸)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 23

自ら直接再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分した量

③ 0

自ら中間処理した量

④ 0

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 23

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 23

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 23

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0

計画の実施状況

不要物等発生量

有償物量

排出量

①90

自ら直接再生利用した量

②0

自ら直接埋立処分した量

③0

自ら中間処理した量

④0

④のうち熱回収を行った量

⑤0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥0

自ら中間処理により減量した量

⑦0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩90

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪90

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫90

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭0

項目

実績値

① 排出量

90

②+⑧ 自ら再生利用を行った量

0

⑤ 自ら熱回収を行った量

0

⑦ 自ら中間処理により減量した量

0

③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量

0

⑩ 全処理委託量

90

⑪ 優良認定処理業者への処理委託量

90

⑫ 再生利用業者への処理委託量

90

⑬ 熱回収認定業者への処理委託量

0

⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0

(特別管理産業廃棄物の種類 :

廃アルカリ

)

(様式第2号の14) 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書 第2面(一覧)

別添

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒④、⑤、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑥より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が①・②・③・⑦・⑨・⑩)、⑨が①・②・③・⑦・⑧・⑨)、⑩が①・②・③・⑦・⑧・⑨)より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑫・⑬・⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

単位:トン/年

		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接再生 利用した量	③自ら直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	④自ら中間処理 した量	⑤自己中間処理 のうち熱回収を 行った量	⑥自ら中間処理 した後の残さ量	⑦自ら中間処理 により減量した量	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量	⑨自ら中間処理し た後自ら埋立処分 又は海洋投入処分 した量	⑩直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち優良 認定処理業者へ の処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用業者への委 託量	⑬⑩のうち熱回 収認定業者への 処理委託量	⑭⑩のうち熱回 収認定業者以外 の熱回収を行う 業者への処理委 託量
廃棄物の種類																
廃油		4	5								5	5	1	4		
廃酸		20	23								23	23	23			
廃アルカリ		122	90								90	90	90			
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)	5	11								11	11	5	6		
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計		151	129	0	0	0	0	0	0	0	129	129	119	10	0	

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業実績値を廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。